

学位授与方針 [修士(工学)]

(1) 通信・メディア処理コース

■ 知識・理解

- 情報工学に関する総合的な専門知識を有し、情報通信、メディア処理について高度な専門技能をもつ。

■ 技能

- 情報化社会の発展による要請に応じた情報通信・メディア処理システムを設計する能力をもつ。

■ 思考・判断・表現

- 情報通信・メディア処理技術の課題を探求し、その解決法を展開して結果を発表し、論文を作成する能力をもつ。

■ 関心・意欲・態度

- 高度情報化社会において、常に自己能力を高めて、身につけた知識、技術と技術者としての倫理に基づいて問題を解決し、社会に貢献する意欲、態度をもつ。

(2) コンピュータシステムコース

■ 知識・理解

- 情報工学に関する総合的な専門知識を有し、VLSI 設計、組込みソフトウェア、システム制御について高度な専門技能をもつ。

■ 技能

- 情報化社会の発展による要請に応じた VLSI・組込み・制御システムを設計する能力をもつ。

■ 思考・判断・表現

- VLSI 設計・組込みソフトウェア・制御技術の課題を探求し、その解決法を展開して結果を発表し、論文を作成する能力をもつ。

■ 関心・意欲・態度

- 高度情報化社会において、常に自己能力を高めて、身につけた知識、技術と技術者としての倫理に基づいて問題を解決し、社会に貢献する意欲、態度をもつ。

教育課程編成・実施方針

多岐に亘る工学の諸分野を国際環境工学の視点で関連付けた教育課程により、社会が求める学際的問題解決について、高度な技術や研究の面から取り組むことのできる人材の育成に努める。

- 「共通科目」・「基礎科目」から4単位以上を修得する。「専門科目」から18単位以上修得する。「特別研究科目」から8単位を修得する。

□ 共通科目

本研究科で養成する人材に対して共通して備えておくべき次の能力を養成することを目的とする科目区分とする。

- ① 技術者として国内外で実践的に活動する際に必要となる情報を収集し伝達する能力。
  - ② 安全、倫理、知的財産権など技術者としての社会的責任を正しく認識できる能力や実践的活動に直接関わる際に必要となる社会的、文化的知識および柔軟な理解力・応用力。
- 全ての科目を選択科目とし、少なくとも2単位以上を修得する。

□ 基礎科目

次の二つの教育的配慮を施すことを目的とする科目区分とする。

- ① 専門分野に関する知識・スキルが十分でない場合に、研究領域の基礎となる内容を提供し、専門分野の教育が円滑に行われるよう配慮すること。
- ② 大学院で研究する際に必要となる境界領域的な知識について、基礎となる内容を提供し横断的な教育が行えるよう配慮すること。

□ 専門科目

(1) 通信・メディア処理コース

ネットワークや信号処理に代表される情報通信技術の開発やサービスを企画するための専門的な知識・技能を獲得するための科目区分とする。所属するコースから10単位以上、他の専攻、他のコースから4単位以上を修

得する。

(2) コンピュータシステムコース

VLSI 設計やシステム制御に代表されるコンピュータシステムを企画・開発するための専門的な知識・技能を獲得するための科目区分とする。所属するコースから10単位以上、他の専攻、他のコースから4単位以上を修得する。

特別研究科目

研究能力や高度な専門技術を身につけるために直接、個別指導を受ける必修の科目区分とする。

※ なお、学部・博士前期課程一貫教育を実践するために、各コースで指定された専門科目について、国際環境工学部4年次生を対象に早期履修を認める。

## 入学者受入れ方針

情報工学専攻博士前期課程では、以下のような人を求めています。

- 環境問題について幅広い関心を持っている人
- 専攻する学問分野の基礎を備え、高度な専門性を身につけるための努力をいとわない人
- 創造力と自主性を備え、先端研究分野に挑戦する意欲を持っている人
- 技術者・研究者に必要な一定の教養・倫理観を身につけている人
- 日本語・英語のコミュニケーション能力の向上に意欲を持っている人

(1) 通信・メディア処理コース

- 情報通信ネットワークの技術およびメディア処理技術について高度な専門的知識の習得を目指している人
- 国際的な場で活躍できる高い能力を身に付けた高度専門職業人及び研究者を目指している人

(2) コンピュータシステムコース

- VLSI システム, 制御システム, 組込みシステムについて高度な専門的知識の習得を目指している人
- 国際的な場で活躍できる高い能力を身に付けた高度専門職業人及び研究者を目指している人